

レザーリーフファン出荷基準表を作成～種子屋久農協花き振興会～



種子屋久農協花き振興会は、種子島の主要花き品目であるレザーリーフファンの出荷基準表を作成し、4月16日に開催された目揃え会にて生産者へ配布しました。

レザーリーフファンは昭和60年頃より栽培が始まりましたが、西之表市、中種子町、南種子町とそれぞれの産地で栽培されてきたことや秀品のみの出荷であったことから、若手生産者が増えてくるなかで、出荷基準をわかりやすくすることを目的にJAや園芸振興協議会、県経済連の協力を得て作成しました。

花き流通対策協議会など、出荷先市場が一堂に集まる場において、花き振興会員が実際にレザーリーフファンを持参し、県経済連や市場関係者とも曲がりの角度や葉の欠損の基準についても検討を重ねました。

レザーリーフファンは3月27日にGI登録もなされ、かごしまブランドでは花き品目で最初に認証を受けるなど高品質であり、市場評価も高いものとなっています。全生産者で出荷基準を遵守し、これまで培った産地への信頼をさらに高めていきましょう。



3月22日、西之表市野菜部会協議会園芸女性部の研修会を開催され27名の会員が参加しました。

農業も厳しい状況ですが、「農家の女性が元気であることが農家の繁栄につながるので笑顔でいられるように心も体も大事にしていきましょう」と女性部長のあいさつから始まり、研修会では園振協での取り組みについて・デイワークについて・子ども食堂についての内容を学習しました。また、島外研修報告もあり、活動には積極的に参加してリフレッシュしましょうと呼びかけも行いました。

研修会後は、ホテルニュー種子島のバイキングランチを楽しみながら、会員交流を賑やかに行いました。

